令和5年度 学校だより



令和5年6月30日

7月号

渋谷区立西原小学校

見方・考え方を働かせて

校長 曾我 泉

11月に新算数教育研究会全国大会東京大会を西原小学校で開催します。大会のテーマは、「数学的な見方・考え方を問う」です。教科書のもととなる、学習指導要領は10年ごとぐらいに改訂されています。現在の小学校の学習指導要領は令和2年度から実施されています。その中で、各教科の目標に「見方・考え方」という言葉が出てきます。算数の目標で言えば、『数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を育成することを目指す』とされています。

子供たちが、社会人となるころの働き方は、これまでとはだいぶ様子が変わってくることが予想されています。急激な人口減少、特に働き手となる世代が減る中で、それぞれの価値観を大切にしながら、アップデートし続け、それぞれの個性を発揮しながら、社会に寄与できる働き手が求められそうです。そのためには、学校教育でもそれぞれが自分で学ぶ力を付け、アップデートし続ける力を付けることが大切になってきます。

私たちは、新型コロナウイルス感染症の影響で、これまでの生活を見直すことを余儀なくされました。特に、学校では「与えられないと学べない子供たちの姿」が問題となりました。これまでも、自ら学ぶ子を育ててきたはずでしたが、いざとなった時に、自分で学ぶ力の弱さを目の当たりにし、私たちは、子供たちにどんな力を付けるべきか、改めて問い直しました。そして、私たち自身が改めて教育観をアップデートすることを通して、授業の改善を図るべく努力しているところです。

自ら学ぶ中には、それぞれの場で、「見方・考え方」を自分で働かせることができることが大切であると 考えられています。そして、自分で自身の姿を客観的にとらえながら、自身で調整して学び方を考えたり、 方法を選んだり、自分で決めて進んだりできる力を付けていくことを目指しています。算数の全国大会で は、自分たちで学ぶ力となる「見方・考え方」に着目した研究を話題にしていくことになります。

これは、夏休みの自由研究でも生かされることです。今年度も自由研究「校長賞」を実施します。

子供たちが、まさに、自分でテーマを決め、方法を選択したり、実験を繰り返したりする中で、数学や理科、国語(言語)の見方・考え方を働かせ、どのようなまとめにたどりつくのか、楽しみにしています。

ぜひ、おうちの方も一緒に関わり、学びを広げるお手伝いをお願いします。





7月の目標

【生活目標】

身の回りの整理整頓をしよう

【保健目標】

夏を健康に過ごそう

【給食・食生活】

残さず食べて

暑さに負けない体をつくろう

6年生の活躍

6年生は、「最高学年」といわれながら、様々な役割 を進めています。

西原小学校の特色の一つである「剣玉」の集会が行われました。6年生は、1年生と組になり、持ち方や構え、やり方を丁寧に教えていました。うまくいったら、ほめることも忘れません。一年生への寄り添い方が上手です。1年生のタブレット開きでも活躍しました。

鼓笛では練習に真摯に取り組んでいます。